

青年前期（16～22歳）

主な特徴

- ・ 学習課題や生活課題に対応することで自ら課題を解決できる力を身につけます。
- ・ 自らの意思により専門的な学習能力を身につけます。
- ・ 異性観や男女の交流に関する理解が深まります。
- ・ 芸術文化に触れ、さらに豊かな感性を高めます。
- ・ 基礎的な運動能力を活かして、さらにスポーツ活動を実践し、体力を高めます。
- ・ 成人を機に社会人としての責任を自覚します。
- ・ 精神的、社会的、経済的な自立に向けて準備をします。
- ・ 自分に適した職業の選択に向けて、必要な技能を身につけます。
- ・ 自ら積極的に社会貢献活動を経験します。
- ・ 活動範囲が広がり、地域を離れる機会が増え、ふるさと意識が希薄になっていきます。
- ・ グローバル化など社会の変化に対応するための国際感覚を身につけることが求められます。

導きだされる
施策の方向

施策の 方向1

成人としての節目を捉え、社会に巣立つための基礎づくりを支援します

自らの意思によって行う専門的な学習活動等を通じて、精神的・社会的・経済的な自立に向けた準備を行い、20歳の成人を節目として、社会的な責任を担っていきます。

施策の 方向2

学習活動の成果を活かし、ふるさと意識が深まるよう支援します

活動範囲が広がり、地域を離れる機会が増え、地域との関わりが希薄になってくることから、体験学習や社会貢献活動を通じて、地域とのつながりや郷土を愛する心を深めていきます。

**成人としての節目を捉え、
社会に巣立つための基礎づくりを支援します**

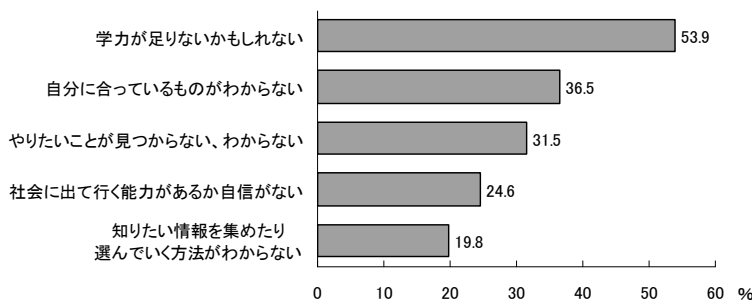
施策
の

方向
1

現状と課題

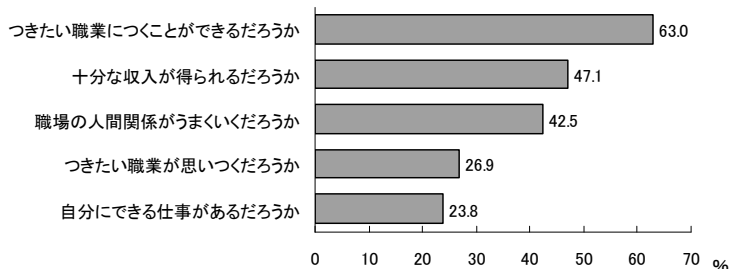
- ①自分に対して自信が持ちにくい傾向があることから、異なった年齢の人々との交流や社会との関わりの中で、自分の行動に自信と責任を持ち、円滑な人間関係を築けるよう支援していく必要があります。
- ②普段から芸術・文化・スポーツに取り組んでいる人と取り組んでいない人との差が大きいことから、取り組んでいる人には、その成果を発揮できる場を、取り組みが少ない人には、体験できる機会を提供していく必要があります。
- ③核家族化などにより育児にふれる機会が減少している一方で、結婚前の妊娠が多いことから、育児の大切さや命を慈しむ心を養う機会を提供していく必要があります。
- ④自己形成が発展途上にあるうえ、不況による時代の閉塞感や先行きの不透明感の中で夢や希望が描きにくいことから、将来に向けた生き方や職業選択、就労の心構えなど、適性に合わせた支援とともに、急速な社会の変化に応じた課題に対応した学習機会の提供を行っていく必要があります。
- ⑤ニート（若年無業者）や引きこもりといった課題が顕在化していることから、学校や社会に復帰するための支援が必要になっています。
- ⑥障害のある子ども・若者が社会的・経済的に自立し、社会参加を果たしていくため、福祉的就労から一般就労に結びつくような学習機会を提供していくとともに、様々な人と交流する機会を設定していく必要があります。また、芸術・文化・スポーツ活動を通じて、一人ひとりの個性や能力が発揮できるよう支援していく必要があります。
- ⑦外国人市民の占める割合が比較的高く、身近なところで国際化が進んでいることから、交流などをきっかけに国際感覚を身につけ、世界に向かって夢と希望を抱くことができるような機会を提供していく必要があります。

○進路選択についてどんなことが気がかりか (回答数=1,953人 対象=高校生 複数回答・上位5項目)



**○将来働くことについて
どんなことが気がかりか**

(回答数=1,953人 対象=高校生
複数回答・上位5項目)



出典：「高校生と保護者の進路に関する意識調査」(2009) (社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート

推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	体験活動の推進 【現状と課題】 対応No.①	乳幼児や児童・生徒に向けたサポート、成人式の事業スタッフをきっかけとした各種事業や審議会等への参画など、体験活動を通じて、自分の行動に責任を持ち、社会に貢献できる力を高めていけるよう支援します。	【相互関連】 ← 少6-1 【継続】 乳 1-6 少 2-3・5-1 青前 2-2 青後 3-3 壮 2-6・7-8 ↓ 高 3-1・2-3
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校による小中学生との交流事業の実施に対する支援 ・スクールインターンシップ*1等による小中学校の授業サポートの実施に対する支援 ・体験活動のリーダーへの登用 ・体験ボランティア活動の実施に向けた支援 ・各種事業スタッフや実行委員、審議会委員としての参画促進 ・市内の学生等による市主催事業への積極的な活用に向けた支援 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	芸術文化活動の推進 【現状と課題】 対応No.②	芸術鑑賞事業や美術作品展等を通じて、豊かな情操と人間性を高めるとともに、社会生活に必要な知識や教養を身につけることができるよう、気軽に楽しく参加できる体験講座などの充実を図ります。また、日ごろの学習や活動の成果が発揮できるよう支援します。	【継続】 乳 1-3 少 1-5・5-3 青後 1-1 ↓ 壮 1-1・10 高 1-6
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞事業の実施 ・美術作品展の実施 ・体験講座等の実施 		

*1 スクールインターンシップ：P75 参照

3 青年前期(16~22歳) 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	読書活動の推進 【現状と課題】対応No.②	ヤングアダルト図書 ^{※1} の紹介や、幅広い蔵書の貸し出しを通じて、読書に親しみ、本からの感動や知識・技術を得ることによって、人格の形成が促進されるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 1-4 少 1-4・5-5 青後 1-2 壮 1-11 高 1-7
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルト図書の紹介 ・課題解決のための図書の紹介 ・体験講座等の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	スポーツ活動の推進 【現状と課題】対応No.②	体育協会やはむら総合型スポーツクラブはむすぼ ^{※2} との連携・協力によって実施する様々なスポーツイベント等を通じて、スポーツの楽しさを体感するとともに、日ごろの学習や活動の成果が発揮できるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 1-2 少 3-1・5-4 青後 1-3 壮 1-12 高 1-8
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育大会への参加促進 ・市民体育祭への参加促進 ・駅伝大会への参加促進 ・はむら総合型スポーツクラブはむすぼ事業への参加促進に向けた支援 ・体験講座等の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	自主的な健康づくりに向けた意識の向上 【現状と課題】対応No.③	性感染症や薬物乱用の防止等を含めた自主的な健康づくりに向けた意識啓発を図るとともに、命を慈しむ心を養うため育児にふれる機会を提供していきます。	【継続】 ↓ 乳 1-1 少 3-2 青後 1-5・6 壮 1-14・15 高 1-1・2
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・はむら健康の日、健康フェアの実施 ・AIDS等の性感染症や違法薬物に関する意識の啓発 ・保育園等への体験ボランティアを通じた育児体験の実施 		

※1 ヤングアダルト図書：中高生を中心とした若者を対象にした図書。

※2 はむら総合型スポーツクラブはむすぼ：P2 参照

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
6	キャリア支援の充実 【現状と課題】対応No.④	大学と連携し、小中学校の授業をサポートする体験や商店街活性化事業等を行うこと、また、市主催事業へ積極的に参画することで、自身の将来の生き方や職業について考える機会とするとともに、自信につながるよう支援していきます。	【相互関連】 ← 少 6-1 【継続】 ↓ 少 5-8 青後 2-1 壮 1-19 高 1-11
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールインターシップ等による小中学校の授業サポートの実施に対する支援 ・学生の参画による町内会・自治会・商店街活性化事業の実施に対する支援 ・市主催事業への参画を通じたインターシップ制度の活用支援《新規》 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
7	就職支援の充実 【現状と課題】対応No.④	商工会やハローワーク、青梅線沿線地域産業クラスター協議会*1等と連携・協力し、職業体験や就職説明会等の就職支援や起業に向けた講座の開催、求人情報の提供を行うことで、就職や生き方を考えることのできる機会を創出します。	【継続】 ↓ 少 5-8 青後 2-1
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・職業相談の実施 ・合同企業就職説明会の実施 ・学生の就業体験に対する支援 ・コミュニティビジネス*2等起業に向けた講座の実施 ・求人情報の提供 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
8	防災・交通安全・防犯に関する学習機会の充実 【現状と課題】対応No.④	防災・交通安全・防犯に関する知識や被害にあったときの対処方法を身につけることができるよう、学習機会の充実を図ります。	【継続】 ↓ 乳 1-6 少 1-6 青後 1-8 壮 1-4 高 2-1
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の実施 ・交通安全講習会の実施 ・防犯に関する情報提供と講習会の開催 		

*1 青梅線沿線地域産業クラスター協議会：JR 青梅線・五日市線・八高線沿線地域に位置する各自治体、商工会議所、商工会ならびに社団法人首都圏産業活性化協会によって組織された産業支援のためのネットワーク。

*2 コミュニティビジネス：地域の課題を地域住民が主体的に、地域資源を活かしながら、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み。

3 青年前期(16~22歳) 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
9	環境学習の充実 【現状と課題】対応No.④	自然保護や地球温暖化の防止、ごみの減量化等を図るため、多摩川などの環境資源を活用した体験学習や社会情勢に対応した学習などの機会を提供していきます。	【継続】 乳 3-2 少 1-8・5-7 青後 1-9 壮 1-5 高 2-6
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル観察会の実施 ・みどりの環境教室の実施 ・夏休み環境教室の実施 ・環境フェスティバルの実施 ・エコ・チャレンジ“環境ファミリー”の実施 			

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
10	消費生活に関する学習の充実 【現状と課題】対応No.④	消費者をめぐる様々な問題に対応できるよう、情報の提供、相談の充実、講座の実施を進めていきます。	【継続】 乳 1-1 少 3-2 青後 1-10 壮 1-6 高 2-2
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活講座の実施 ・消費生活相談の実施 ・消費者の日の実施 			

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
11	男女共同参画社会の実現に向けた学習機会の充実 【現状と課題】対応No.④	男女共同参画の基本的な考え方が地域社会に浸透されるよう、広報活動による市民意識の啓発等を図るとともに、市民が主体的に推進できるよう支援していきます。	【継続】 青後 1-11 壮 1-7 高 2-3
	主な計画事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する情報紙の発行 ・男女共同参画フォーラムの実施 			

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
12	人権尊重と世界平和思想の趣旨普及 【現状と課題】対応No.④	暴力や虐待の防止に向けて、人権意識を啓発するとともに、世界平和の意識が高まるよう学習機会を提供していきます。	【継続】 ↓ 少 2-1 青後 1-12 壮 1-8 高 2-4
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に合わせた意識啓発事業と相談の充実 ・人権関連相談の実施 ・平和の企画展の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
13	学習情報の提供 【現状と課題】対応No.④	大学公開講座・通信講座等の情報を提供するとともに、インターネットを活用し、学習情報を取得できる機会を提供していきます。	【継続】 ↓ 青後 1-14・2-2 壮 1-22 高 1-13
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座・通信講座等の情報提供 ・ゆとりぎイベントガイドの充実 ・e-ラーニング※1を活用した学習情報の提供 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
14	社会との関係を築きにくい子ども・若者に向けた支援の充実 【現状と課題】対応No.⑤	ニート(若年無業者)や引きこもりなど、社会生活を円滑に営むことが難しい子ども・若者に対応するため、公的機関等のネットワークを構築するなど支援の充実を図ります。	【継続】 → 青後 2-3
	主な計画事業		
	・「子ども・若者支援地域協議会※2」の設置<<新規>>		

※1 e-ラーニング：パソコンやインターネットなどの情報技術を利用して行う学習・教育。

※2 子ども・若者支援地域協議会：若者のニートや引きこもりという現実的な課題に対応するために関係団体間で連携し、支援していくためのプログラム等を検討するための組織。

3 青年前期(16~22歳) 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
15	障害のある子ども・若者に向けた学習支援の充実 【現状と課題】対応No.⑥	日中活動の場の提供や、就労機会の拡大を図るとともに、芸術・文化・スポーツ等を通じて、学習機会や人との交流の場を提供し、自立と社会参加を進め、個性と能力が発揮できるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 3-4 少 4-1 青後 2-4 壮 1-21 高 2-10
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者就労支援センター「エール」の利用促進 ・ 地域活動支援センター「あおば」及び「ハッピーウイング」の利用促進 ・ 障害者スポーツ・レクリエーションのつどい事業の実施 ・ 青年学級事業の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
16	国際理解の推進 【現状と課題】対応No.⑦	世界情勢や外国事情の紹介、外国人や外国人市民との交流など、国際感覚が身につくような機会を設定し、国際社会の中で活躍できるよう支援していきます。	【継続】 ↓ 少 1-7 青後 2-5 壮 1-9 高 2-8
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横田基地内の外国人との交流 ・ 外国人市民を講師とした国際理解講座の実施 		

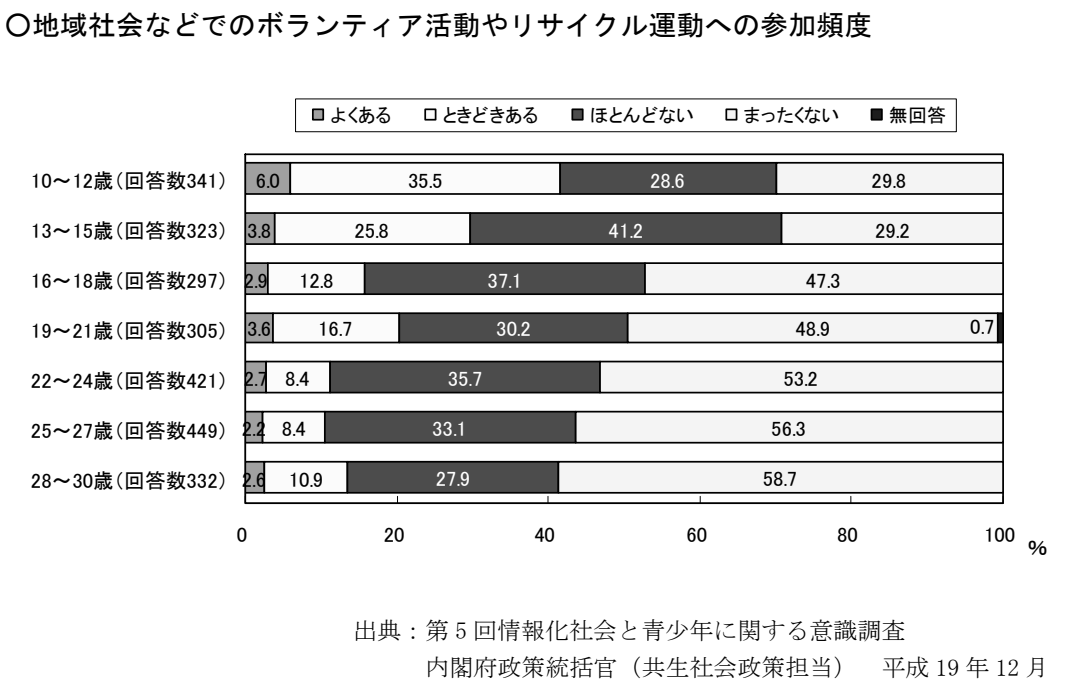
目標指標

	指標名	現 状	目 標 (平成 28 年度)
指標 1	小中学校の授業サポートを行った学生 の数	84 人 (平成 22 年度)	200 人
指標 2	市の事業に参加してインターンシップ 制度を活用した学生の数	—	50 人

施策の **方向2**
**学習活動の成果を活かし、
 ふるさと意識が深まるよう支援します**

現状と課題

- ①生まれ育った地域を離れる時間が増え、地域活動に関わりにくくなることから、興味や関心が高い分野の活動や社会貢献活動等を通じて、地域社会の構成員としての自覚を促し、地域とのつながりや郷土を愛する心を深め、次代のまちづくりを担う力を高めていく必要があります。
- ②自主的なグループ活動を活発に行っている団体もありますが、成果を発揮できる機会が限られていることから、活動の位置づけを明確にし、必要に応じて活動支援や成果発表の場を提供していく必要があります。
- ③活動範囲が広がるにつれて外部への好奇心が高まる一方、地域活動に対する関心が希薄になっていくことから、情報機器に詳しく、アニメやゲームで育った世代であることを踏まえて、この年代層の感覚に合わせた広報活動や情報提供を行っていく必要があります。



推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	市主催事業への参加促進	誰もが楽しめるイベントとして、花と水のまつり、夏まつり、産業祭、ふるさと祭りなどを実施し、日ごろの学習や活動の成果を発揮する場となるよう支援します。	【継続】 青後 3-2 ↓ 壮 2-2 ↓ 高 3-9
	【現状と課題】 対応No.①②		
	<p style="text-align: center;">主な計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの参加促進 ・各種まつりの活用に向けたサークルや団体への参加促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	ボランティア活動の推進	乳幼児や児童・生徒に向けたサポート、成人式の事業スタッフをきっかけとした各種事業や審議会等への企画運営の段階からの参画を通じて、学習や活動の成果を発揮するとともに、地域とのつながりを深めるよう支援していきます。	【相互関連】 ← 少 6-1 【継続】 ↓ 乳 1-6 ↓ 少 2-3・5-1 ↓ 青前 1-1 ↓ 青後 3-3 ↓ 壮 2-6・7-8 ↓ 高 3-1・2-3
	【現状と課題】 対応No.①②		
	<p style="text-align: center;">主な計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高校による小中学生との交流事業の実施に対する支援 ・スクールインターシップ等による小中学校の授業サポートの実施に対する支援 ・体験活動のリーダーへの登用 ・体験ボランティア活動の実施に向けた支援 ・各種事業スタッフや実行委員、審議会委員としての参画促進 ・市内の学生等による市主催事業への積極的な活用に向けた支援 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	大学との連携による地域貢献活動の推進	小中学校の授業をサポートする体験や町内会・自治会・商店街の活性化事業等を行う機会を設定し、その中で、専門的な知識や技術を活かせるよう支援していきます。	【相互関連】 ← 少 6-1
	【現状と課題】 対応No.①		
	<p style="text-align: center;">主な計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールインターシップ等による小中学校の授業サポートの実施に対する支援 ・学生の参画による町内会・自治会・商店街活性化事業の実施に対する支援 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	郷土学習の充実 【現状と課題】対応No.①	まちの礎を築いてきた先人たちの努力や自然について学び、ふるさと意識が高まるよう支援します。	【継続】 ↓ 乳 3-2 少 5-6 青後 1-4 壮 1-13 高 1-9
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示・企画展の実施 ・体験講座等の実施 ・講演・講座の実施 ・登録郷土研究員制度^{※1}の活用と人材の育成 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	社会教育関係団体への登録支援と文化・体育団体への加盟促進 【現状と課題】対応No.②	様々な団体やサークルに、社会教育関係団体への登録の呼びかけや必要に応じた文化協会・体育協会への加盟促進を行います。また、個人でも参加しやすいよう社会教育関係団体を紹介するなど、活動を通じて学習機会や成果を発揮できる場の提供を進めます。	【継続】 ↓ 青後 3-4 壮 2-4 高 3-4
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体への登録支援 ・文化協会・体育協会への加盟促進 ・団体・サークルガイドの充実 ・文化祭、体育祭への参加促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
6	広報活動の充実 【現状と課題】対応No.③	市の事業や地域の行事への興味関心を持つきっかけとして、市の事業や広報活動の展開に活用できるマスコットキャラクターを設定するなど、親しみやすい周知を働きかけ、積極的に学習情報を提供していきます。	
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットキャラクターを活用した生涯学習情報のPR<<新規>> ・パソコンやモバイルを活用した市の情報のPR ・駅掲示板を有効活用した学習情報の提供 		

※1 登録郷土研究員制度：市民との協働による郷土研究を進めるため、地域の人材を研究員として育てていく制度。

目標指標

	指標名	現 状	目 標 (平成28年度)
指標1	成人式事業スタッフへの参画人数	11人 (平成22年度)	20人
指標2	構成員の7割が高校・大学生で構成されている社会教育関係団体の数	—	10団体